

# 湧水を散歩

**1** **ハタチヤ清水**  
Hatachiya shimizu



コンコンと湧くのが見えるハタチヤさんの清水。お店へ一歩かけると見せてもらえます。

**2** **久米清水**  
Kome shimizu



この清水の近くに久米という家があつて、自家の水屋のように使っていたことから、この名がついたと言われている。別名「跳場清水」とも呼ばれている。

**3** **御台所清水**  
Odaidokoro shimizu




鷹狩りに使われていた佐竹の殿様が料理用にごの水を使われたことから「御台所」と呼ばれている。

**4** **山田家清水**  
Yamadake shimizu




以前山田さんという方が住んでいた場所で、現在は休める憩いの場となつています。

**5** **キヤペコ清水**  
Kyapeko shimizu



三つあわせてキヤペコ清水。キヤペコは方言で、男の子の○○○○の音です。

**6** **諏訪清水**  
Suwa shimizu



諏訪神社のそばにある四つの清水と北側を流れる御伊勢堂川。この形が「心」と見えるので「心清水」ともいふ。

**おすすめ散歩コース (約2時間)**  
「湧太郎」～ハタチヤ清水～久米清水～御台所清水～山田家清水～キヤペコ清水～諏訪清水～藤清水～ニテコ清水～「ニテコ名水庵」～「湧子ちゃん」～上町商店街～市場通り商店街～寺町通り～「湧太郎」

六郷の湧水群(清水)は、  
●昭和60年:環境庁の「名水百選」  
●平成7年:国土庁の「水の郷百選」  
●平成7年:林野庁の「水源の森百選」  
●平成12年:建設大臣の「甦る水百選」  
●平成14年:読売新聞社「遊歩百選」に選定されています



**イバラトミヨ(ハリザッコ)**  
数ある清水の中には、氷河期の生き残り「イバラトミヨ」通称(ハリザッコ)が生息しています。水温が年間を通して15℃前後のきれいな湧き水に住む、学術的にも貴重な淡水魚です。

**7** **藤清水**  
Fuji shimizu



昔は近くに三つの倉があり、三倉清水とも呼ばれていた。今は、藤の花の見事さから藤清水と呼ばれている。

**8** **ニテコ清水**  
Niteko shimizu



アイヌ語のニタイ(森林)、コツ(たまり)から付けられたとか。明治天皇御巡幸のとき、その水を差し上げたことから「御膳水」ともいふ。



のんびりと、ゆったりと、清水とお寺を散歩する。それは、とても癒されるひと時です。

**9** **神清水**  
Kami shimizu



「上清水」、「柳清水」とも呼ばれた。昔は「垢離清水」ともいふことある。

**10** **馬洗い清水**  
Umaarai shimizu



馬洗い清水は自然そのまゝの姿を保ち、氷河期の遺存生物イバラトミヨ(ハリザッコ)も多く生息している。

**11** **宝門清水**  
Houmon shimizu



16世紀後半、照葉寺の山門を廻り下れたところ、湧き出した清水。山門のあたりの宝のよなな泉、というところから宝門清水となった。

**12** **台蓮寺藤清水**  
Dairenji-fuji shimizu



台蓮寺庭園内にあり、藤棚の下から水が湧いている清水。周辺には樹木が多く、樹齢80年位の藤の木をはじめ、たくさんのお木に囲まれている。

**13** **浄海清水**  
Joukai shimizu



昔、浄海という行人がこの清水の辺りで修行したという。昔は六郷に「行人屋敷」の地名があり、付近の人々は土用の丑の日、に風呂桶を運び湯治をした。

**14** **紙漉座清水**  
Kamikusiza shimizu



新山清水の名は「月の出羽路」にあるが、明治のころ、この清水を紙をすいたので紙漉座清水と呼ばれ、現在に至っている。

**15** **側清水**  
Gawa shimizu



菅江真澄「月の出羽路」の絵詞に、「河筋地蔵堂」とあるので、「かわすじ」から転じて「かわ」となったとも言われている。